

2017年(平成29年)10月1日

会員各位

第134回
Klub Zukunft 月例会
— 歴史・文化に親しむ会 —

秋涼のみぎり、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、10月第134回のKlub Zukunft月例会は京都の細見美術館の主任学芸員である福井麻純さんに「琳派 —美を愉しむ—」と題し、とりわけ教科書にも取り上げられる名品としてあまりにも有名な俵屋宗達の「風神雷神図屏風」や、尾形光琳の「紅白梅図屏風」など、日本美術の中でも華やかな作風で広く知られる琳派についてお話しいただきます。

琳派は、「派」といっても流派として継承されてきたものではないとのこと。その琳派の特徴や見どころを琳派の代表作を中心にスライドでご紹介、お話しいただき、「琳派とは？」の謎に迫っていただけるそうです。皆さまと一緒に時代を超えて愛される琳派の魅力に触れる時間を過ごしましょう。

皆様のご参加をお待ちしています。また、皆さまのお友達にも参加の働きかけをしていただき、一緒にご出席いただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

- ◆ 日 時： 2017年10月25日(水曜日) 16:00～17:30
- ◆ 場 所： 大阪市立大学 文化交流センター
大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第2ビル 6階
(添付の地図をご参照下さい。)
- ◆ テーマ：美術・工芸シリーズ I-1 「琳派 —美を愉しむ—」
- ◆ 講 師： 福井麻純(細見美術館主任学芸員)様
- ◆ 参加料： 正会員； 500円 / 賛助会員&一般； 1,000円
- ◆ 月例会への参加は Klub Zukunft のホームページからお申し込み下さい。
<http://klubzukunft.com/>
- ◆ 尚、月例会終了後、懇親会を開催しますので、併せてご参加下さい。(会費は実費)



国宝「風神雷神図屏風」 俵屋宗達 建仁寺蔵

以上